

統計で見る

# 九州漁業の概要

令和6年12月  
九州農政局統計部

農林水産省

# 九州の漁業産出額は全国の約1/4を占めています

## 九州の位置と海流

九州は、日本列島の南西部に位置し、四方を海に囲まれ、黒潮と対馬海流の大きな暖流が流れる温暖な地域です。

遠洋・近海漁業の漁場である、東シナ海、太平洋、日本海に出港しやすい位置にあり、また、多くの離島・半島による複雑な海岸線を有し、さまざまな沿岸漁業・養殖が行われています。

このような地域的条件もあり、九州は、人口・面積・経済が全国の約10%でありながら、漁業産出額<sup>1)</sup>では全国の25%を占めています。



資料：水産庁『図で見る日本の水産』及び『我が国周辺の水産資源の現状を知るために』をもとに九州農政局統計部で作成しました。

## 各種指標による全国における九州のシェア

	0	25	50	75	100	九州 / 全国 (%)		
人口 (令.5)	[Progress bar to 10.1%]					10.1	1.3 / 12.4	(1,000万人)
総面積 (令.5)	[Progress bar to 11.2%]					11.2	42.2 / 378.0	(千km <sup>2</sup> )
域内総生産 <sup>2)</sup> (名目) (令.3)	[Progress bar to 8.3%]					8.3	479.9 / 5,773.5	(1,000億円)
漁業生産量 (海面・内水面) (令.5)	[Progress bar to 18.8%]					18.8	699.4 / 3,724.3	(千t)
漁業産出額 (海面) (令.4)	[Progress bar to 24.5%]					24.5	3.5 / 14.3	(1,000億円)
農業産出額 (令.4)	[Progress bar to 20.2%]					20.2	18.2 / 90.1	(1,000億円)
林業産出額 (令.4)	[Progress bar to 20.9%]					20.9	1.1 / 5.1	(1,000億円)
海岸線延長 (平.27)	[Progress bar to 28.6%]					28.6	10.2 / 35.6	(千km)
島の数 (令.4)	[Progress bar to 27.7%]					27.7	3,908 / 14,125	(島)
半島振興対策実施地域 (平.23)	[Progress bar to 34.8%]					34.8	8 / 23	(地域)
漁港数 (令.6)	[Progress bar to 25.6%]					25.6	711 / 2,774	(港)

資料：総務省統計局『人口推計』、国土地理院『全国都道府県市区町村別面積調』、内閣府『国民経済計算』、農林水産省統計部『海面漁業生産統計調査(概数値)』『内水面漁業生産統計調査(概数値)』『漁業産出額』『農業産出額及び生産農業所得統計』『林業産出額』、環境省『環境統計集』、総務省統計局『日本統計年鑑』、国土交通省『半島振興対策実施地域名一覧』及び水産庁『都道府県別漁港管理者別漁港数一覧』をもとに九州農政局統計部で算出しました。

注：「九州」としての公表数値が無いものについては、九州7県の値を九州農政局統計部で単純集計しています(以下、同じ。)。また、漁業生産量については、秘匿措置<sup>3)</sup>により公表されていない値は集計に含めていません。

注：1) 漁業産出額は、海面漁業生産統計調査等の結果から得られる都道府県別の魚種別生産量に産地水産物流通調査(水産庁)、主要産地の市場、関係団体等から得られる魚種別産地卸売価格を乗じて推計したものです。なお、本資料では、捕鯨業(くじら類)を含めていません。

2) 域内総生産は、1年間にある地域内の生産活動によって生み出された付加価値の総額を意味し、経済の実態を明らかにする経済指標です。

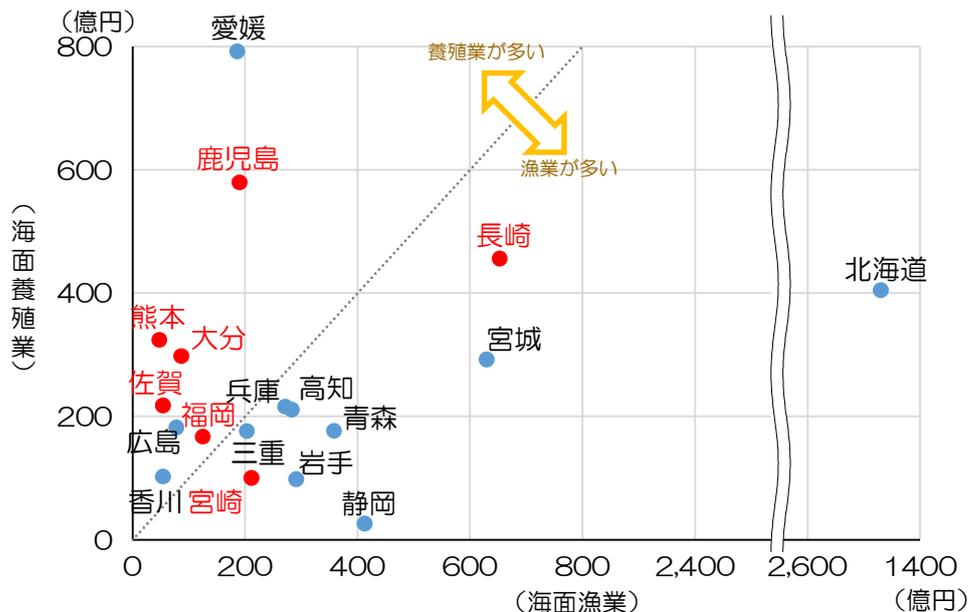
3) 秘匿措置は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないものを「x」として表示しています。

# 育てる漁業が盛んな九州

海面漁業<sup>1)</sup>の産出額は、長崎県が北海道に次いで全国2位となっています。海面養殖業<sup>1)</sup>の産出額は、鹿児島県が愛媛県に次いで全国2位となっており、次いで長崎県、熊本県、大分県、佐賀県の順となっています。

九州では、7県のうち5県で海面漁業より海面養殖業の産出額が多くなっており、福岡県、佐賀県、熊本県は養殖の「のり類」が、大分県、鹿児島県は養殖の「ぶり類」が他魚種の産出額を大きく上回っています。

## 都道府県別海面漁業と海面養殖業の産出額（令和4年）



資料：農林水産省統計部『漁業産出額』  
注：海面漁業200億円以上又は海面養殖業100億円以上の都道府県を抜粋して表示しています。（秘匿措置により公表されていない都道府県を除く。）



## 海面漁業・養殖業の県別産出額の上位魚種（令和4年）

順位	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島
1	(養)のり類 152.5	(養)のり類 195.9	(養)くろまぐろ 207.4	(養)のり類 124.7	(養)ぶり類 221.0	まぐろ類 92.2	(養)ぶり類 444.4
2	(養)かき類 13.2	えび類 25.0	あじ類 116.5	(養)まだい 88.8	(養)くろまぐろ 29.0	(養)ぶり類 80.6	まぐろ類 93.0
3	貝類 13.2	(養)ぶり類 9.4	(養)ぶり類 98.3	(養)ぶり類 46.9	(養)ひらめ 10.7	かつお類 47.9	(養)くろまぐろ 90.5
4	たい類 10.7	いか類 5.7	さば類 88.6	(養)くるまえび 14.7	(養)しまあじ 9.1	(養)まだい 11.4	(養)くるまえび 14.0
5	ぶり類 9.5	(養)ふぐ類 5.5	まぐろ類 66.9	(養)しまあじ 13.2	まぐろ類 8.9	いわし類 10.2	いわし類 12.3
6	さわら類 9.2	貝類 1.6	(養)真珠 62.3	(養)ふぐ類 8.9	いわし類 8.7	あじ類 8.3	(養)まだい 11.3
7	たこ類 7.5	たい類 1.6	いか類 51.5	(養)真珠 8.5	海藻類 8.3	さば類 8.0	あじ類 9.1
8	いか類 7.2	(養)真珠 1.5	いわし類 49.2	たちうお 6.8	(養)ふぐ類 8.2	かじき類 7.3	かつお類 8.7
9	なまこ類 5.0	(養)かき類 1.2	ぶり類 37.9	いわし類 5.5	あじ類 6.9	ぶり類 6.5	ぶり類 7.4
10	海藻類 3.5	(養)まだい 1.1	(養)ふぐ類 37.7	たこ類 3.7	(養)その他の魚類 5.0	えび類 4.0	さば類 7.3

資料：農林水産省統計部『漁業産出額』  
注：1 「その他の魚類」、「その他の水産動物類」及び秘匿措置により公表されていない魚種を除いています。  
2 県名下段は、各県の海面漁業と海面養殖業の産出額の計です。また、「(養)」は養殖、表示が無いものは漁業によるものです。

注：1) 「海面漁業」、「海面養殖業」とは、海（海水の流入がある「浜名湖（静岡県）」などを含む。）で行われる漁業や養殖業（陸上で海水を使用する養殖を含む。）をいいます。一方、河川や湖沼で行われるものを「内水面漁業」「内水面養殖業」といいます。

# 九州の漁獲量は「いわし類」などの「あおざかな」が半分以上です

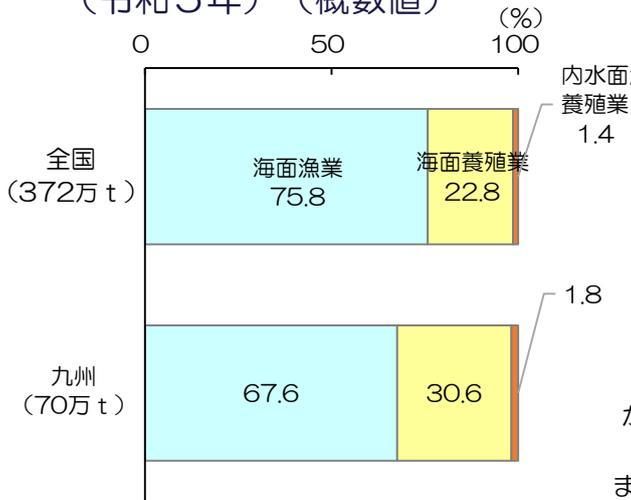
漁業・養殖業は、河川や湖沼などの淡水（内水面）でも行われていますが、全国・九州ともに海（海面）における生産量<sup>1)</sup>が、多くを占めています。

九州の漁業経営体による<sup>2)</sup>海面漁業の漁獲量<sup>1)</sup>は、「あおざかな」といわれる「さば類」「いわし類」「あじ類」の3種で全体の60%以上を占め、全国より高い割合となっています。

海面養殖業では、「のり類」が九州の収穫量<sup>1)</sup>の約半分を占め、次に多い「ぶり類」と合わせると、この2種で全体の80%以上を占めています。

内水面漁業・養殖業については、全国に比べ漁業の生産量の割合が小さく、うなぎ養殖の占める割合が非常に高くなっています。

## ■ 全国と九州の海面漁業・養殖業及び内水面漁業・養殖業生産量の割合（令和5年）（概数値）

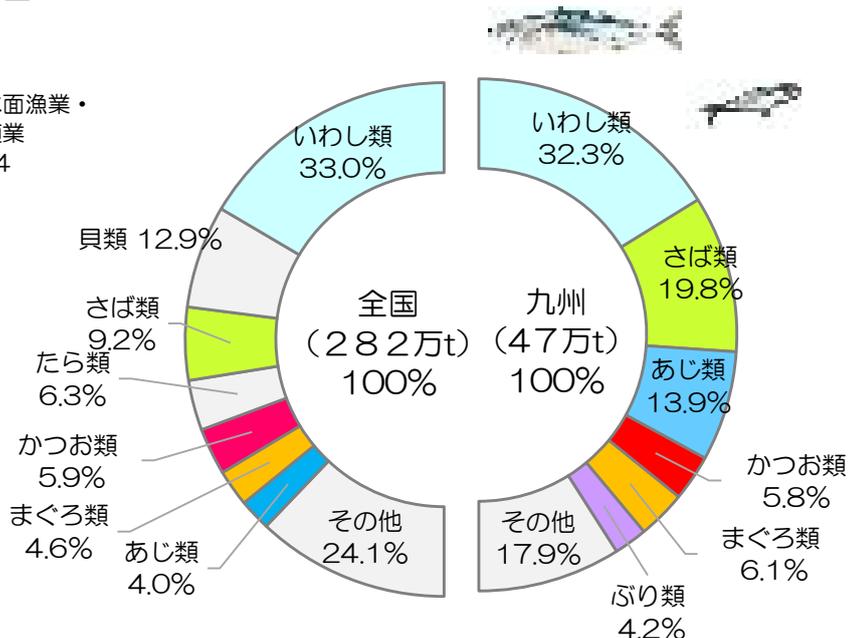


資料：農林水産省統計部『海面漁業生産統計調査（概数値）』及び『内水面漁業生産統計調査（概数値）』

注：1 秘匿措置により公表されていない値は集計に含めていません。

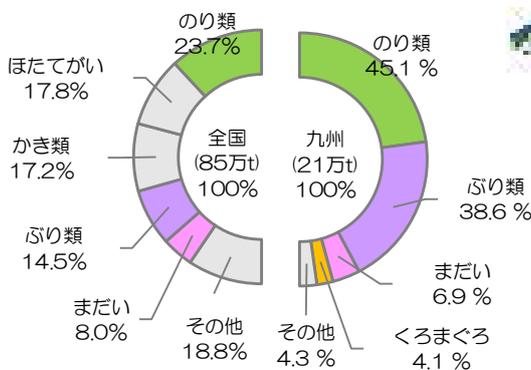
2 海面養殖は、種苗養殖を除きます。

## ■ 全国と九州の海面漁業の魚種別漁獲量割合（令和5年）（概数値）



資料：農林水産省統計部『海面漁業生産統計調査（概数値）』  
注：全国は10万t、九州は1万t以上の魚種を抜粋しました。

## ■ 全国と九州の海面養殖業の魚種別収穫量割合（令和5年）（概数値）

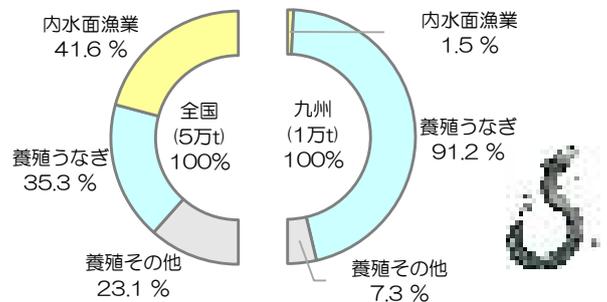


資料：農林水産省統計部『海面漁業生産統計調査（概数値）』

注：1 全国5万t、九州1万t以上の養殖種類を抜粋しました。

2 秘匿措置により公表していない値については、集計に含めていません。

## ■ 全国と九州の内水面漁業・養殖業生産量の割合（令和5年）（概数値）



資料：農林水産省統計部『内水面漁業生産統計調査（概数値）』

注：秘匿措置により公表していない値については、集計に含めていません。

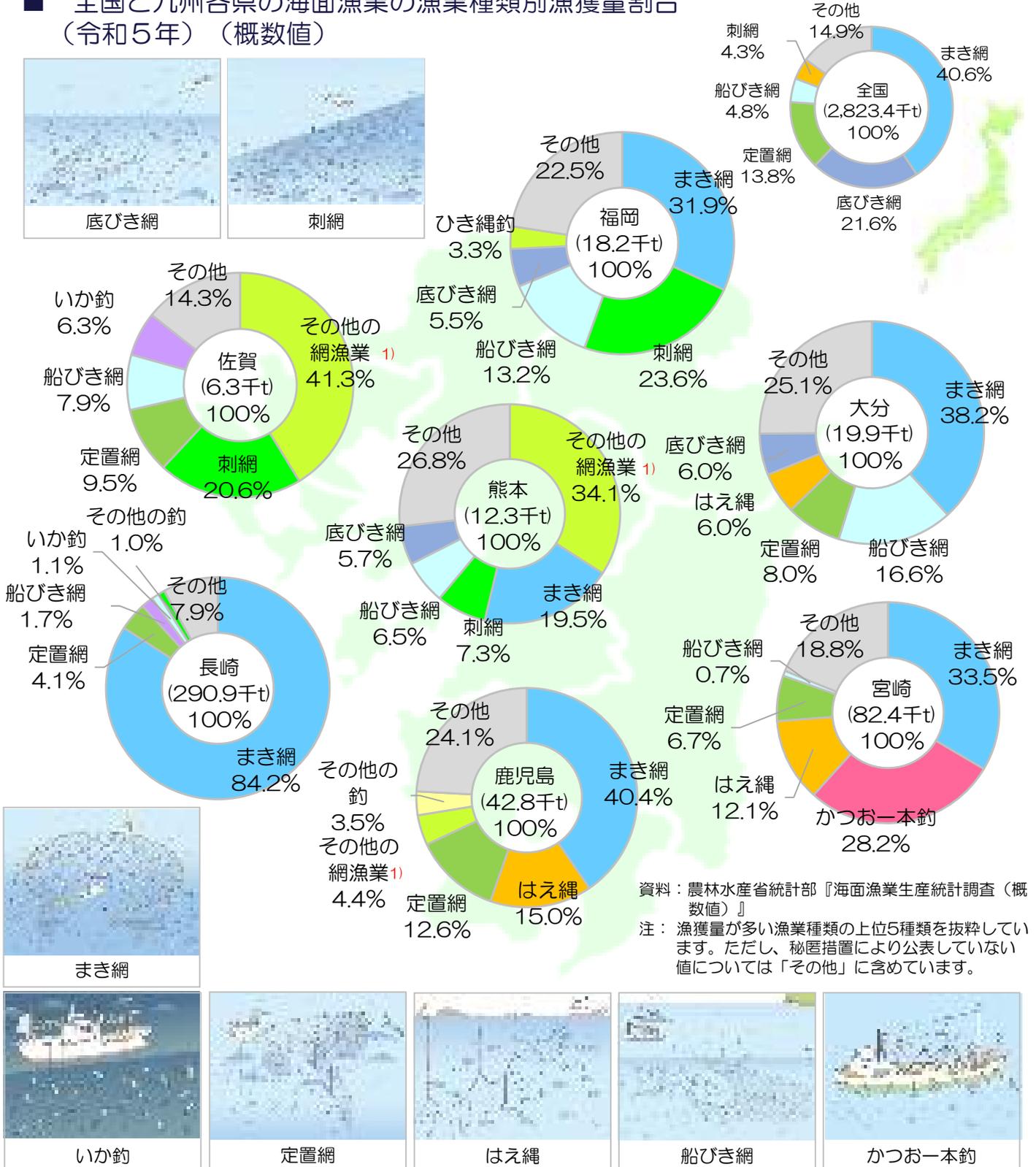
注：1) 漁業・養殖業における量の表現については、網や釣り針などを使う漁業により魚や海藻などを獲った量を「漁獲量」、養殖によるものを「収穫量」、漁業と養殖による量をまとめていう場合は「生産量」としています。

2) 海面漁業生産統計調査では、漁業・養殖業を行う世帯や企業等が所在する地域別に計上しています。

# 漁法別の漁獲量では「まき網」が大きな割合を占めています

漁業には多くの漁法（漁業種類）があり、その中でも「さば」、「いわし」、「あじ」等の群れを包み込んで獲る「まき網」の漁獲量は、全国・九州ともに大きな割合を占めています。  
また、「かつお一本釣」は宮崎県で、まぐろ類などを獲る「はえ縄」は鹿児島県・宮崎県・大分県の3県で割合が高くなっています。

## ■ 全国と九州各県の海面漁業の漁業種類別漁獲量割合 (令和5年) (概数値)



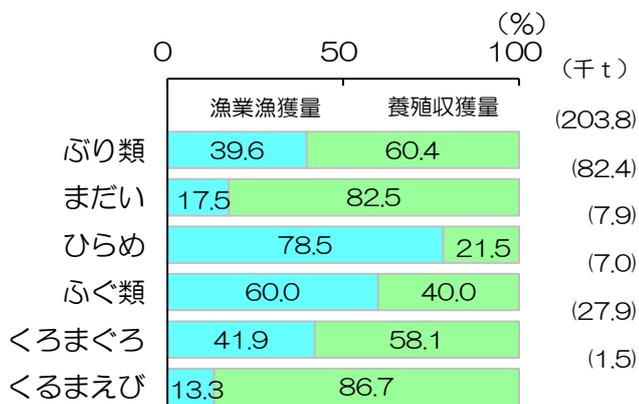
注：1) 「その他の網漁業」とは、底びき網、船びき網、まき網、刺網、さんま棒受網及び定置網以外の網による漁業をいいます。このうち、佐賀県は主に「えび類」を目的とした「投網」、熊本県は主に「うるめいわし」を目的とした「棒受網」の割合が多くなっています。

# 九州の養殖ふぐ類・ひらめ・くろまぐろのシェアは50%以上

養殖魚の中には、生産量で天然魚を上回るものがあり、全国では特に「まだい」や「くるまえび」の養殖魚が天然魚を大きく上回っています。

九州は養殖魚の全国シェアが高く、「ふぐ類」、「ひらめ」、「くろまぐろ」の約50%が九州の主産県で収穫されています。

## ■ 全国の海面漁業漁獲量と海面養殖業収穫量の割合（令和5年）（概数値）



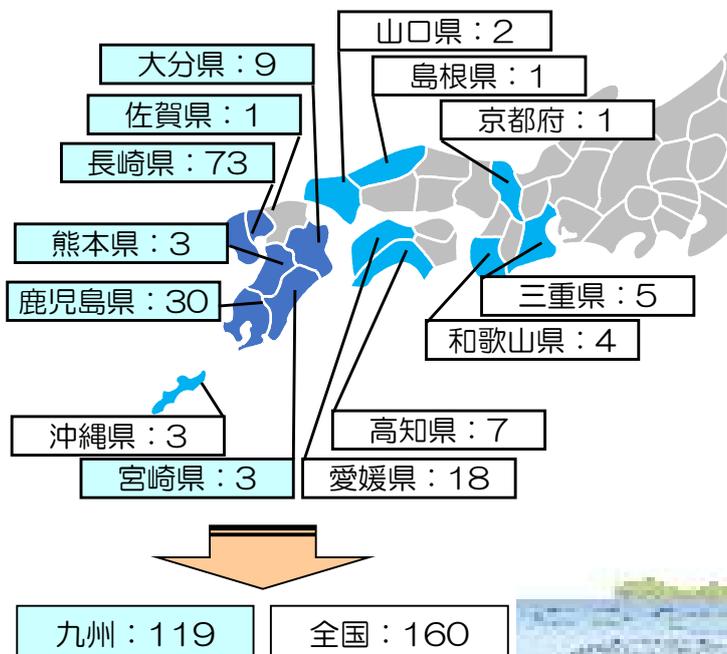
資料：農林水産省統計部『海面漁業生産統計調査（概数値）』  
注：「( )」は、漁業漁獲量と養殖業収穫量の計です。

## ■ 海面養殖業収穫量の九州各県の全国シェア（令和5年）（概数値）



資料：農林水産省統計部『海面漁業生産統計調査（概数値）』  
注：地域別値により合計している割合が、全国シェア10%以上の九州各県を反映しています。

## ■ 全国のくろまぐろ養殖場数（令和5年）



資料：水産庁『我が国におけるクロマグロ養殖』  
注：漁場数は令和5年12月1日現在です。

## ■ 養殖における海洋観測システム（「うみログ®」）の開発とマニュアルの整備

三重県では、三重県水産研究所、独立行政法人国立高等専門学校機構鳥羽商船高等専門学校及び県内の企業が共同で漁場関係のリアルタイム監視が可能なIoT海洋観測のモニタリングシステム（名称「うみログ®」）を開発。同システムは、クロノリ養殖漁場に設置した海洋観測機が収集する水温、クロロフィル濃度等の情報をスマートフォンアプリで閲覧可能とし、養殖業者は、これらの情報を基に、養殖開始日の決定、プランクトンの増殖情報によるノリの色落ちの予測等に活用。

資料：『令和5年度水産白書「スマート水産業の推進等に向けた技術の開発・活用」』より抜粋

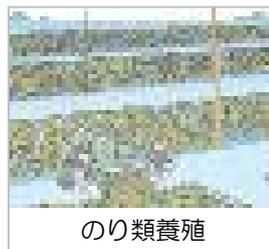


# のり類・真珠・うなぎ養殖も盛んです

のり類養殖は、九州では有明海を中心に行われており、佐賀県、福岡県、熊本県の3県で全国の約50%の収穫量となっています。

また、水産加工品である「焼・味付のり」も、有明海周辺の県で主に生産されています。

真珠養殖は、長崎県が愛媛県、三重県とともに、3大生産県となっています。

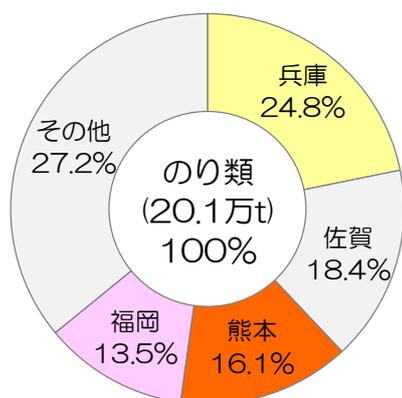


のり類養殖



真珠養殖

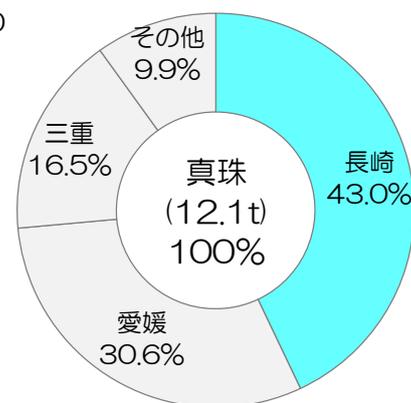
## のり類の都道府県別海面養殖業収穫量の割合（令和5年）（概数値）



## 焼・味付のりの都道府県別生産量（令和4年）



## 真珠の都道府県別収穫量の割合（令和5年）（概数値）



資料：農林水産省統計部『海面漁業生産統計調査（概数値）』

注：収穫量2万t未満の都道府県は「その他」に含めています。

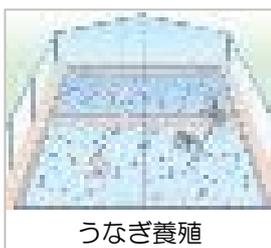
資料：農林水産省統計部『水産加工統計調査』

資料：農林水産省統計部『海面漁業生産統計調査（概数値）』

注：収穫量1t未満の都道府県は「その他」に含めています。

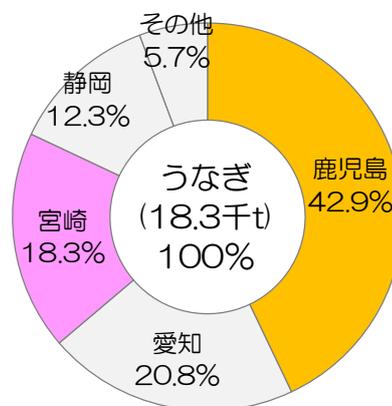
全国のうなぎの生産量は、天然が55t、養殖が18,294tで、ほとんどを養殖が占めています。

九州では鹿児島県及び宮崎県で養殖が盛んで、この2県で全国の約60%を収穫しています。



うなぎ養殖

## うなぎ養殖の都道府県別収穫量の割合（令和5年）（概数値）



資料：農林水産省統計部『内水面漁業生産統計調査（概数値）』

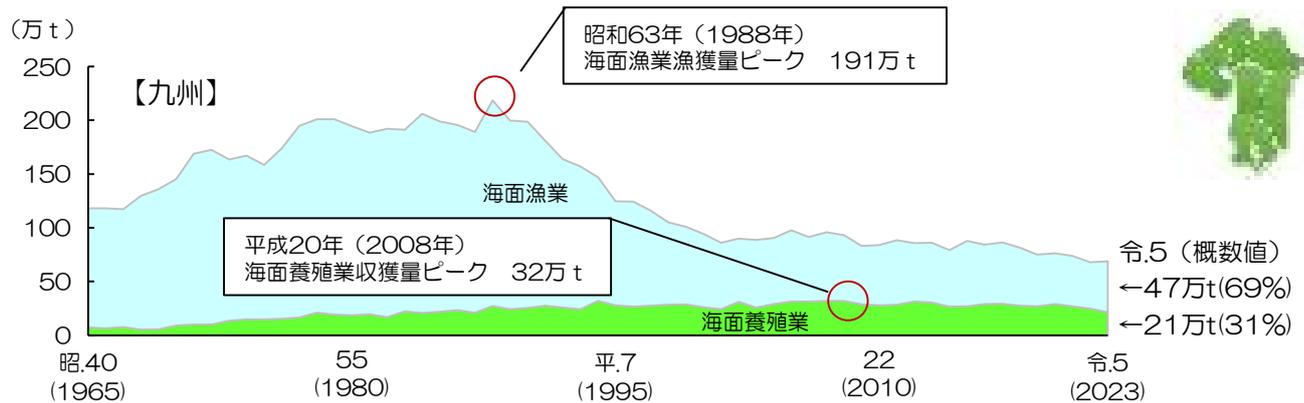
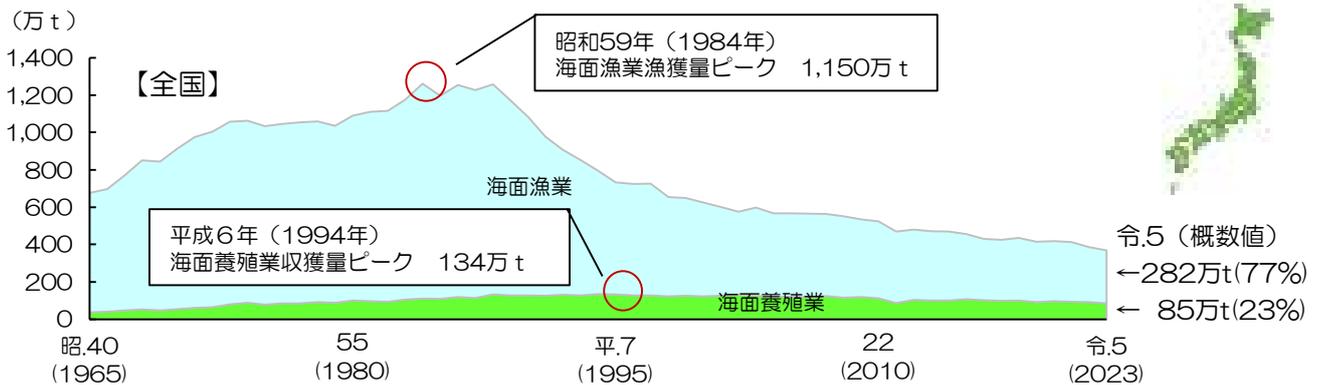
注：収穫量1,000t未満の都道府県は「その他」に含めています。

# 漁獲量の減少にともない養殖の割合が増加しています

海面漁業の漁獲量は、全国が昭和59年、九州が昭和63年にピークを迎え、それ以降はそれぞれ減少傾向で推移しています。一方、海面養殖業の収穫量は、昭和40年代から緩やかに増加して以降、一定量を維持し続けていますが、海面漁業の漁獲量が減少しているため、相対的に海面漁業・養殖業生産量全体に占める割合が増加しています。

昭和60年代以降、漁獲量が減少していく中で魚介類の輸入量は増加していましたが、平成10年代に入ると、国内消費量の減少とともに輸入量も減少し、自給率は53~62%の間で推移しています。

## ■ 全国と九州の海面漁業漁獲量と海面養殖業収穫量の推移

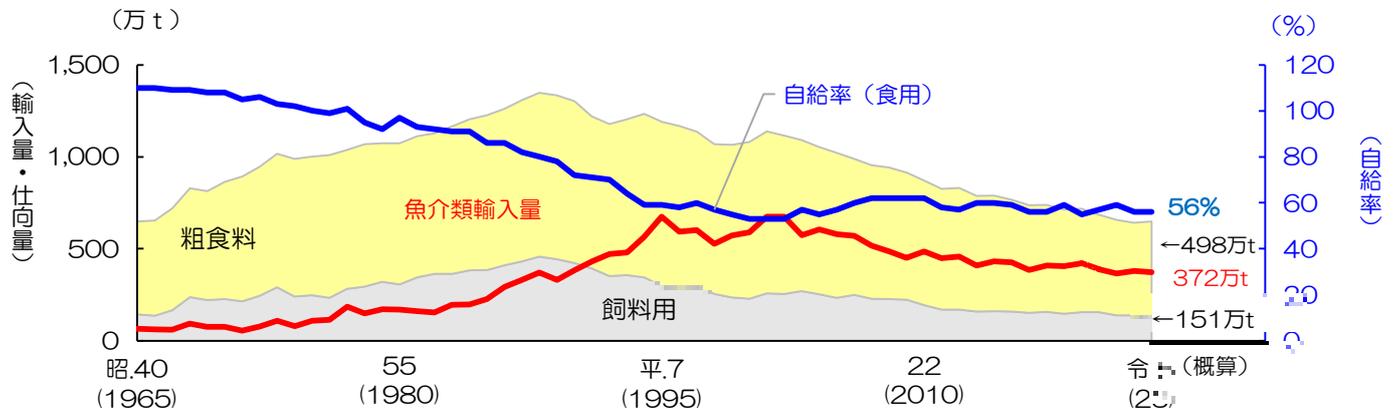


資料：農林水産省統計部『海面漁業生産統計調査』

注：1 積み上げグラフです。

2 「(%)」は、海面漁業漁獲量と海面養殖業収穫量の計に対する割合です。

## ■ 国内の魚介類輸入量と国内消費仕向量（粗食料・飼料用）、自給率の推移



資料：農林水産省『食料需給表』

注：1 魚介類に海藻類は含んでいません。

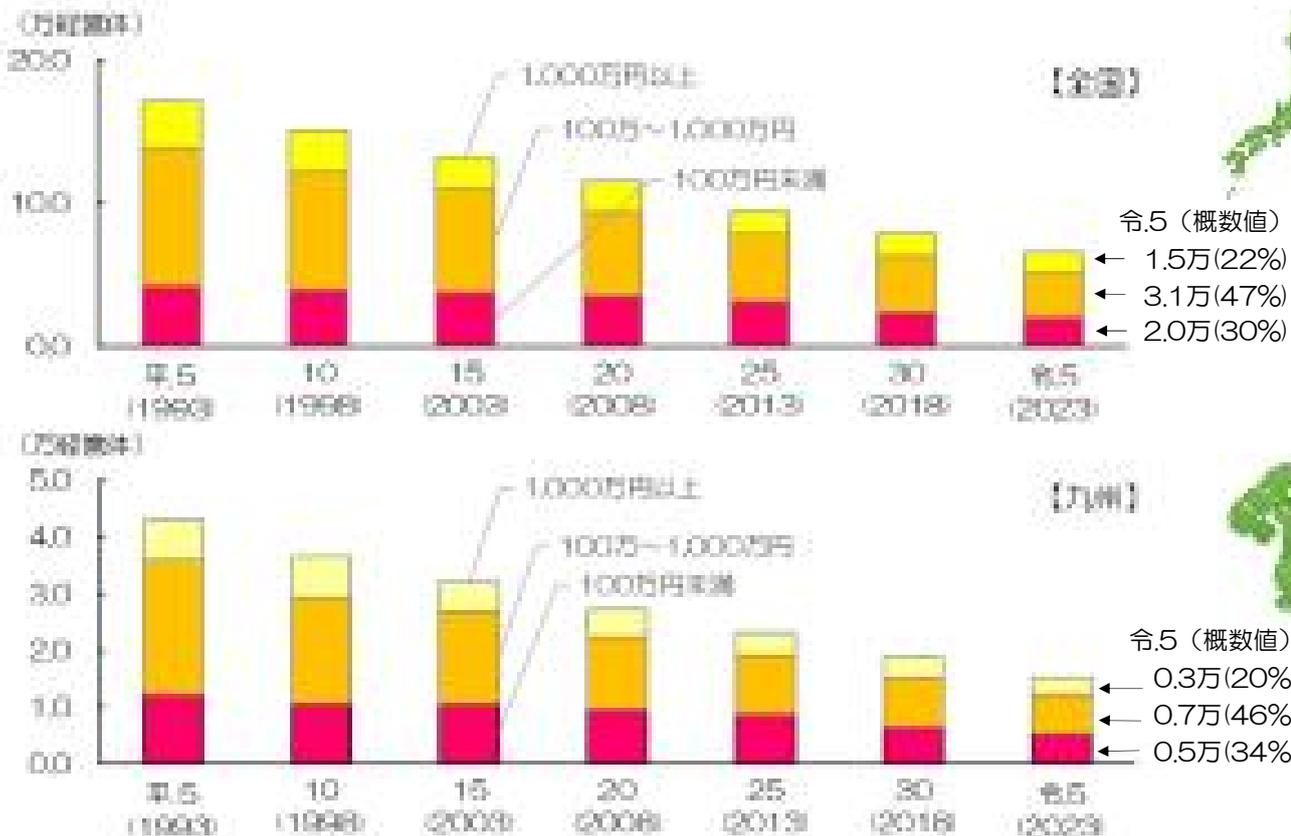
2 国内消費仕向量（粗食料・飼料用）は積み上げグラフです。

# 漁業経営体数が減少し、漁業者の高齢化が進行しています

漁業や養殖業を営む世帯や事業所である漁業経営体数は、全国及び九州とも減少傾向で推移しています。

経営体が減少する中、漁業または農業に従事している者の65歳以上の割合は、全国、九州いずれも総人口（15歳以上）における同割合を上回っており、漁業も農業と同様に高齢化が進んでいます。単純な比較はできませんが、漁業は農業と比べると65歳以上の割合は低い結果となっています。

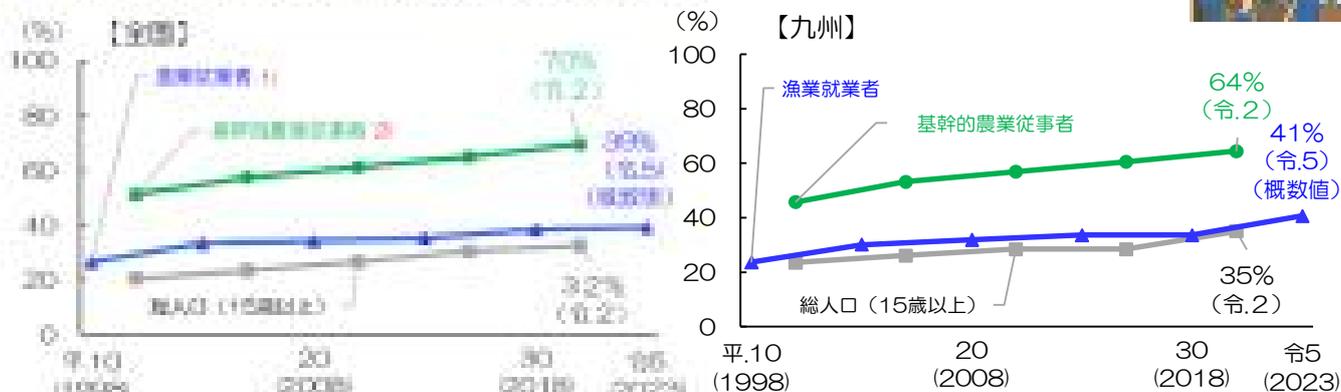
## ■ 全国と九州の販売金額規模別漁業経営体数（海面漁業）の推移



資料：農林水産省統計部『漁業センサス（概数値）』

注：「(%)」は、漁業経営体数に占める各階層（販売金額規模別）の割合です。

## ■ 漁業者・農業者・総人口（15歳以上）における65歳以上の割合



資料：農林水産省統計部『漁業センサス（概数値）』および『農林業センサス』並びに総務省統計局『国勢調査』をもとに九州農政局統計部で作成しました。

注：1) 漁業就業者は、満15歳以上で過去1年間に漁業の海上作業に年間30日以上従事した人をいいます。

2) 基幹的農業従事者は、15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している人をいいます。

# 消費が多い「さば」「いわし」「あじ」「たい」

1世帯当たりの魚介類の年間購入数量を比較した都市ランキングをみると、九州での漁獲量が多い「さば」「いわし」「あじ」のほか、「たい」や「あさり」で、九州内の各都市が10位以内に多く入っています。一方で、「まぐろ」などは、他の地域ほど購入されていません。

水産物は鮮度が落ちやすいため、家庭で調理する鮮魚（生の魚）以外に、さまざまな加工品にも利用されています。特に「かつお節」については、鹿児島県だけで全国の70%以上を生産しています。

## ■ 二人以上世帯 魚介類年間購入数量品目別都市ランキング<sup>1)</sup> (令和2年～令和4年平均)

### 生鮮魚介<sup>2)</sup>

単位：g

	さば	いわし	あじ	まぐろ	かつお	ぶり	たい	あさり
全国	806	466	763	1,880	821	1,571	541	561
1	鹿児島市 1,421	鳥取市 1,309	長崎市 2,352	静岡市 4,120	高知市 4,182	富山市 4,115	佐賀市 1,497	千葉市 756
2	松江市 1,236	北九州市 966	山口市 1,827	前橋市 3,134	福島市 1,647	金沢市 3,040	熊本市 1,420	甲府市 743
3	鳥取市 1,230	青森市 920	佐賀市 1,758	甲府市 3,098	水戸市 1,476	高松市 2,341	松山市 1,278	津市 733
4	宮崎市 1,137	松江市 849	大分市 1,574	相模原市 3,040	仙台市 1,310	鳥取市 2,298	北九州市 1,226	長崎市 729
5	金沢市 1,120	金沢市 835	松江市 1,509	宇都宮市 2,971	山形市 1,300	松江市 2,289	福岡市 1,110	佐賀市 725
6	松山市 1,094	大分市 827	宮崎市 1,382	那覇市 2,659	高松市 1,266	高知市 2,230	鹿児島市 1,042	大分市 706
7	和歌山市 1,085	鹿児島市 700	神戸市 1,364	福島市 2,612	盛岡市 1,240	津市 2,148	山口市 1,037	静岡市 697
8	山口市 1,083	津市 697	鹿児島市 1,248	さいたま市 2,584	徳島市 1,239	徳島市 2,146	長崎市 1,015	東京都区部 659
9	奈良市 1,043	松山市 675	松山市 1,221	横浜市 2,552	松山市 1,114	福井市 2,114	大阪市 940	川崎市 655
10	佐賀市 1,033	山口市 653	北九州市 1,111	東京都区部 2,547	浜松市 1,112	北九州市 2,113	高松市 903	鹿児島市 649

### 水産加工品

単位：g

	塩さけ	たらこ	かつお節・削り節
全国	1,315	668	206
1	新潟市 3,308	青森市 1,355	那覇市 886
2	盛岡市 2,665	福岡市 1,265	浜松市 309
3	秋田市 2,544	秋田市 1,120	鹿児島市 297
4	山形市 2,467	山形市 1,068	高知市 282
5	福島市 2,392	北九州市 1,042	静岡市 279
6	青森市 2,313	新潟市 1,001	和歌山市 267
7	長野市 2,113	札幌市 931	大津市 253
8	富山市 2,094	盛岡市 903	津市 245
9	札幌市 1,862	福島市 881	横浜市 239
10	水戸市 1,853	前橋市 876	名古屋市 238

資料：総務省『家計調査（家計調査（二人以上の世帯）品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング（2020年（令和2年）～2022年（令和4年）平均）』

注：購入数量上位10都市を抜粋しています。

## ■ 水産加工品生産に占める九州主産県の割合 (令和4年)



資料：農林水産省統計部『水産加工統計調査』  
注：( )内の数値は、各製品の生産量の全国計です。

注：1) 都市ランキングは、都道府県庁所在市に政令指定都市（川崎市、相模原市、浜松市、堺市及び北九州市）をあわせた、52都市におけるランキングです。

2) 生鮮魚介は、保存のための加工がされていないもので、冷凍・洗浄・切断・不要物の除去などの最低限の加工を加えたものを含みます。「さば」～「たい」は鮮魚であり、刺身・切身（フィレ）を問いません。また、「あさり」は、殻付き、むき身を含み、ゆで、蒸しも含みます。

# 九州の水産物を世界へ

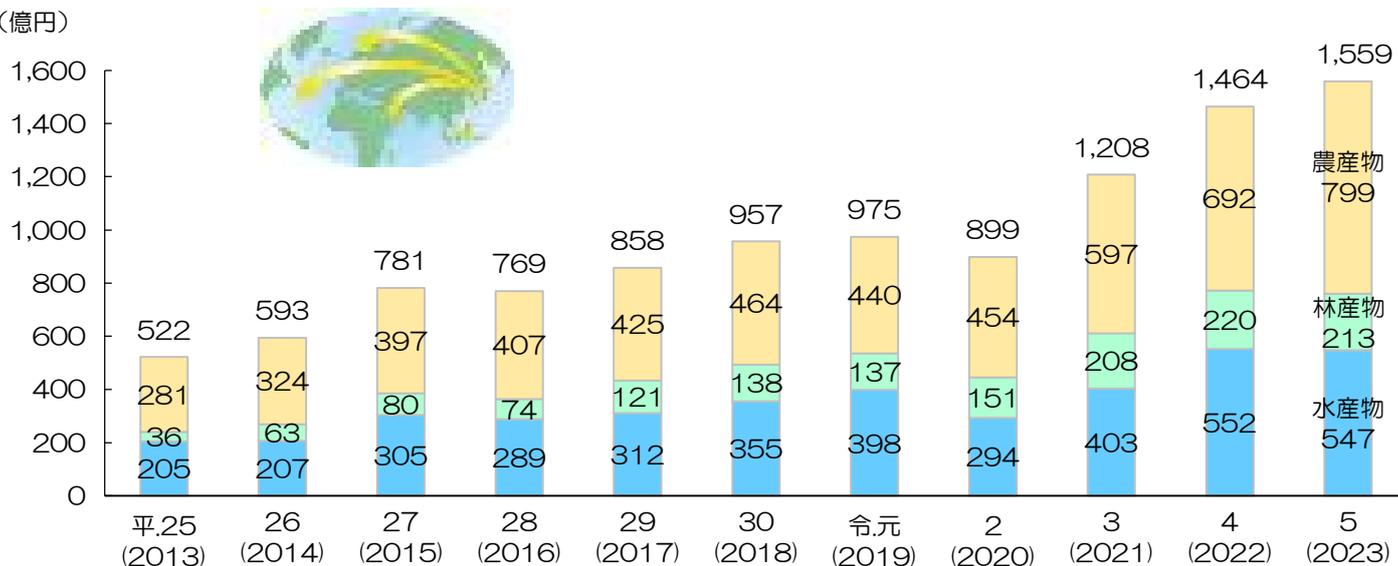
国内の水産市場が縮小する一方、拡大する世界の水産物市場に向け、我が国の高品質で安全な水産物を輸出していくことは、販路拡大や漁業者等の所得向上につながる重要な手段です。

九州の各港等からの農林水産物の輸出金額は、増加傾向にあります。水産物についても、農産物・林産物同様に増加しています。

九州では世界各国に向けて、鹿児島県の「ぶり」をはじめ、さまざまな水産物の輸出に取り組んでいます。

## ■ 九州の港等からの農林水産物・食品の輸出額<sup>1)</sup>

(億円)



資料：九州農政局『見たい！知りたい！九州農業2024』

## ■ 九州の主な水産物の輸出品目と輸出先 (令和4年度)

### 【長崎県】

〈活魚(まだい、まあじ等)、鮮魚(まぐろ等)〉  
→中国、アメリカ、韓国等

71.5億円

### 【熊本県】

〈ぶり、まだい等〉  
→アメリカ、韓国等

27.7億円

### 【大分県】

〈養殖ぶり・養殖くろまぐろ〉  
→アメリカ、韓国、香港等

11.1億円

### 【宮崎県】

〈養殖ぶり等〉  
→台湾、アメリカ、EU等

18.5億円

### 【鹿児島県】

〈ぶり、かんぱち、水産加工品等〉  
→アメリカ等

136.4億円

資料：九州農政局『見たい！知りたい！九州農業2024』

## ◆ 輸出取組事例

### 『日本の牡蠣を世界へ』

福岡県 株式会社アクアグローバルフーズ

【主な品目】 殻付き活牡蠣、冷凍殻付き牡蠣

【主な輸出先】 香港、シンガポール

【輸出取組の概要】

- ・アジアへ牡蠣の輸出。
- ・新興国を中心に輸出相手国の開拓。
- ・マーケットのニーズに対応し、冷凍殻付き牡蠣を輸出。

【輸出実績】

	輸出額 (万円)	輸出量 (t)
令和4年度	8,740	60
令和3年度	5,000	25
令和2年度	6,620	30

資料：九州農政局『農林水産物・食品の輸出取組事例』

注：1) 全国の令和5年の農林水産物・食品の輸出額（少額貨物を含む）は、1兆4,541億円となりました。そのうち、農産物は9,059億円、林産物は621億円、水産物は3,901億円となっています。（資料：農林水産省『令和5年度食料・農業・農村の動向』）



## ■ 水産関連主要指標

項目	単位	全国	九州	九州割合	摘要(資料名)
漁業経営体数(海面漁業) (令5.11.1現在)	経営体	65,652	15,168	23.1%	農林水産省統計部 『2023年漁業センサス(概数値)』
漁業就業者数 (令5.11.1現在)	人	121,230	29,514	24.4%	
漁船数 (令5.11.1現在)	隻	109,247	27,157	24.9%	
魚市場 (令5.1.1現在)	市場	755	121	16.0%	
冷凍・冷蔵工場 (令5.1.1現在)	工場	4,028	662	16.4%	
水産加工場 (令5.1.1現在)	工場	5,944	1,195	20.1%	
海面漁業・養殖業生産量(令和5年)					農林水産省統計部 『海面漁業生産統計調査(令和5年)(概数値)』
海面漁業漁獲量	100 t	28,234	4,728	16.7%	
海面養殖業収獲量	100 t	8,490	2,141	25.2%	
内水面漁業・養殖業生産量(令和5年)					農林水産省統計部 『内水面漁業生産統計調査(令和5年)(概数値)』
内水面漁業漁獲量	t	21,565	188	0.9%	
内水面養殖業収獲量	t	30,299	12,273	40.5%	
漁業産出額(令和4年)					農林水産省統計部 『令和4年漁業産出額』
海面漁業	100万円	913,592	136,862	15.0%	
海面養殖業	100万円	521,098	214,253	41.1%	
内水面漁業・養殖業	100万円	137,482	...	...	
漁港数 (令6.4.1現在)	漁港	2,774	711	25.6%	水産庁 『都道府県別漁港管理者別漁港数一覧』
海岸線延長(平27年)	km	35,649	10,182	28.6%	環境省 『令和4年版 環境統計集』

項目	単位	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島
漁業経営体数(海面漁業) (令5.11.1現在)	経営体	2,008	1,317	4,805	2,166	1,506	812	2,554
漁業就業者数 (令5.11.1現在)	人	3,913	2,965	9,209	4,118	2,508	1,996	4,805
漁船数 (令5.11.1現在)	隻	3,767	3,911	7,908	4,006	2,430	1,212	3,923
魚市場 (令5.1.1現在)	市場	9	5	19	12	19	17	40
冷凍・冷蔵工場 (令5.1.1現在)	工場	98	57	152	72	74	85	124
水産加工場 (令5.1.1現在)	工場	150	91	320	165	93	107	269
海面漁業・養殖業生産量(令和5年)								
海面漁業漁獲量	t	182	63	2,909	123	199	824	428
海面養殖業収獲量	t	286	384	229	480	164	150	448
内水面漁業・養殖業生産量(令和5年)								
内水面漁業漁獲量	t	67	7	-	12	75	27	-
内水面養殖業収獲量	t	177	15	13	348	186	3,568	7,966
漁業産出額(令和4年)								
海面漁業	100万円	12,486	5,435	65,273	4,788	8,680	21,179	19,021
海面養殖業	100万円	16,703	21,774	45,599	32,429	29,798	9,983	57,967
内水面漁業・養殖業	100万円	...	...	...	...	...	...	...
漁港数 (令6.4.1現在)	漁港	65	45	226	103	110	23	139
海岸線延長(平27年)	km	692	384	4,183	1,078	774	406	2,666

- 注：1 「×」は、個人又は法人その他団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないものです。  
 2 「…」は、事実不詳又は調査を欠くものであり、県・地域別にとりまとめを行っていないものです。  
 3 「-」は、事実のないものであり、漁獲量が無いものです。



### 九州農政局統計部 統計企画課

電話：096-211-9111 内線(4922)

九州農政局ホームページアドレス <https://www.maff.go.jp/kyusyu/>